

地域公共交通計画策定調査方針 について

1. 調査方針について
2. 令和 6 年度に予定する調査

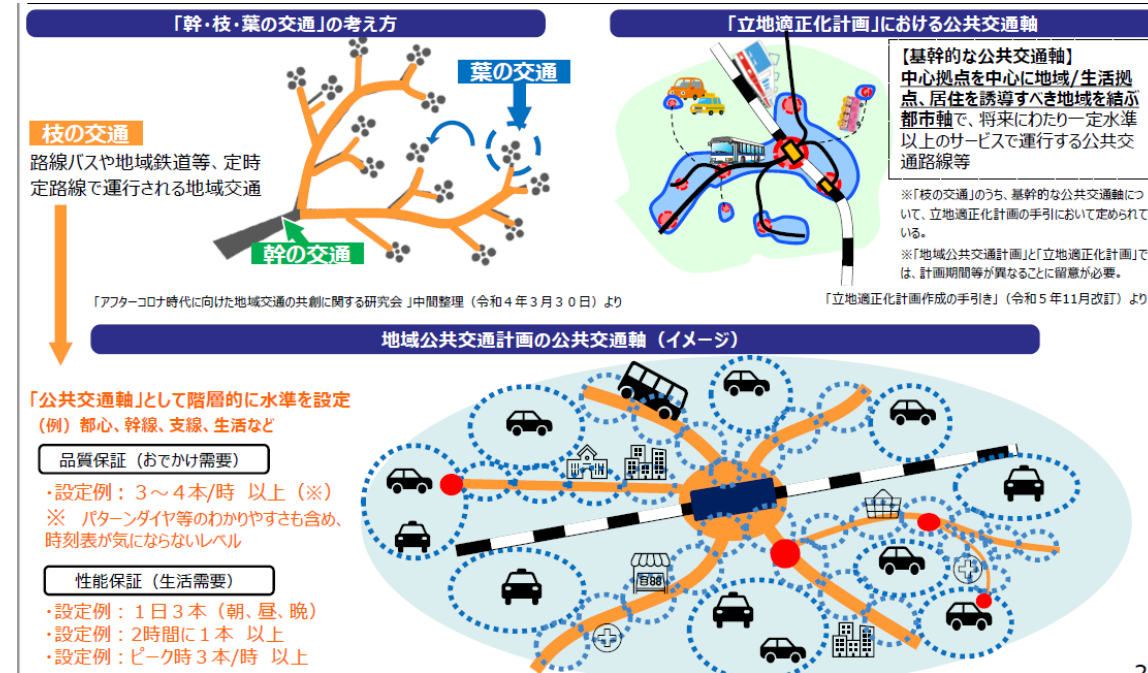
1. 調査方針について

①3つの調査目的

目的1)地域公共交通環境(幹・枝・葉)を把握する

1. 【基幹交通】
複数の地域にまたがる移動手段(主に鉄軌道)
2. 【幹】
大人数の移動を支える移動手段(主に利用の多い路線バス等)
3. 【枝】
少人数の移動を支える移動手段(主に利用の多い路線バス等)
4. 【葉】
各移動手段に接続するまでのラストワンマイルを支える移動手段(主に個人モビリティ)

出典:地域公共交通計画の実質化に向けた検討会(中間まとめ)国土交通省



設問設定 ⇒ 調査項目例

Q 1 : 立川市内の公共交通はどこを走っているのか?

⇒ 交通網を調査 (平日・土休日等)

Q 2 : 立川市や周辺市の地域公共交通はどれが幹で、枝で、葉?

⇒ 利用者数、頻度を調査 等

調査報告

- ・ 現在の交通機関の利用実態、移動実態を調査し、地域の「移動像」として取りまとめる

1. 調査方針について

①3つの調査目的

目的2)地域の移動実態を調査する

1. 【生活拠点】または【目的】

地域内の日常生活で毎週のように訪れる場所
(スーパー、ドラッグストア、郵便局、銀行、駅 等)
(買い物、通勤、通院、介護、通院等介助 等)

2. 【交通手段】

生活拠点に行く場合、移動する乗り物、手段
(徒歩、自転車、自家用車(運転別) 等)

3. 【移動頻度】

自宅から生活拠点へ移動する頻度

4. 【移動障害】

公共交通を利用するうえで不便と感じる障害 など

設問設定 ⇒ 調査項目例

Q 1 : 地域の方が日常生活で移動している範囲は ?

⇒ 生活拠点、移動距離を調査

Q 2 : 日常生活の移動はどんな方法で移動しているの ?

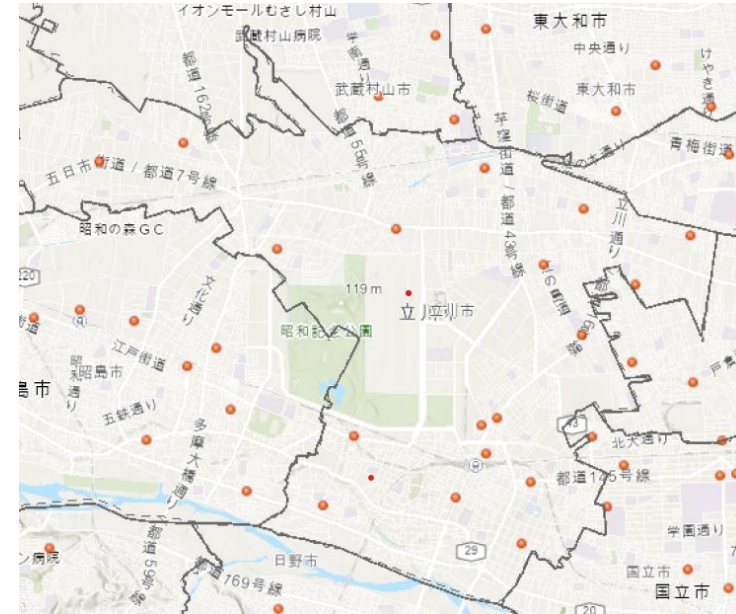
⇒ 交通手段、移動頻度を調査 等

調査報告



・地域住民の自宅から生活拠点への移動(範囲、頻度、目的)を属性別に調査し、地域の「生活像」として取りまとめる

郵便局位置(国土数値情報H25 年度より作成)



1. 調査方針について

①3つの調査目的

方針3)将来予測される課題や取り巻く環境を調査する

1. 【運転手不足問題】

運転手の高齢化等による乗務員数の動向、路線バス運行可能便数

2. 【少子化・高齢化】

少子化による通学利用者、高齢化に伴う通勤利用者の変化、公共交通利用に困難を覚える市民の割合

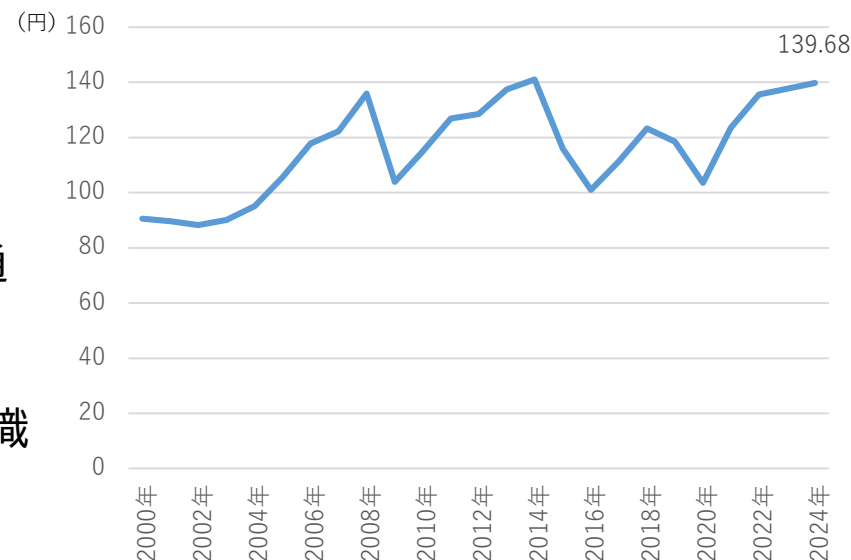
3. 【ライフスタイルの変化】

自家用車利用者の割合、在宅勤務の割合、ライフワークバランスの意識変化

4. 【物価上昇】

燃料費、人件費の高騰、運賃価格の上昇

ガソリン卸価格(出典:資源エネルギー庁石油製品価格調査)



設問設定 ⇒ 調査項目例

Q 1 : 運転手が少なくなる可能性は？

⇒ 利用者数、運転手数を調査

Q 2 : 公共交通利用者は増加するのか？

⇒ 人口構成、市民意識を調査 等

調査報告

・現在起こっている課題を調査し、「将来予測」を作成する

2. 令和6年度に予定する調査

移動像、生活像、将来予測をするために下記の手法で調査（予定）

- ①無作為抽出アンケート調査
- ②利用者アンケート調査
- ③交通事業者ヒアリング調査
- ④交通関係移動データ調査
- ⑤ビックデータ調査
- ⑥市民ワークショップ



移動像・生活像・将来予測をするために、上記6つの手法で調査する項目（調査項目）は？
（何があれば、地域の移動実態、生活実態、将来課題を把握できるか？）



各委員への依頼

8月13日（火）までに事務局にご意見ください

（ご意見を踏まえて調査項目を作成し、第2回委員会にて報告）